

県老連だより



発行 2020.3
一般財団法人
佐賀県老人クラブ連合会

会長 木下 治 紀

〒840-0804 佐賀県佐賀市神野東二丁目6番1号
(佐賀県在宅生活サポートセンター)
TEL (0952) 33-3520



参加者のみなさん

第48回 全国老人クラブ大会

令和元年11月26日～27日の2日間、全国老人クラブ大会が、埼玉県さいたま市において開催されました。「のぼそう！健康寿命、担おう！地域づくりを」をメインテーマに、初日は彩の国さいたま芸術劇場にて活動交流部会、第1部会「高齢者の健康づくり・介護予防活動の推進」・第2部会「高齢者の支え合い活動の推進」・第3部会「演じる活動」をテーマに発表・質疑応答が行われました。

2日目は大宮ソニックスティにて、全国からの参加者二千四百名が一堂に会して、講演、式典が開催されました。

佐賀県からは、木下治紀会長をはじめ表彰受賞者を含め17名が出席しました。

出席者を代表し、全老連優良老人クラブ連合会表彰を受けられたみやき町老人クラブ連合会の中島正利会長から報告をいただきました。

（報告） 式典では、全国老人クラブ連合会会長表彰が行われ、佐賀県からは次の方々が受賞されました。誠にありがとうございます。

【全国老人クラブ連合会会長表彰】

・育成功労表彰

前 佐賀県老人クラブ連合会評議員

田中 久義氏

前 鳥栖市老人クラブ連合会副会長

下田 節子氏

・優良老人クラブ表彰

佐賀市天祐福寿会 (山岸良行会長)

・優良老人クラブ連合会表彰

みやき町老人クラブ連合会

(中島正利会長)

・100万人会員増強運動表彰

佐賀市若宮第一老人クラブ

(芳賀信夫会長)

鹿島市老人クラブ連合会

(高松昭三会長)



木下会長と表彰者のみなさん

1. 11月25日(月)

09時55分発 ANA 454便で羽田へ。羽田から、貸切バスに乗りし浅草へ。食事後、徒歩で浅草寺参り。暫く、沢山の観光外人さん達の、ポンポンとした香り(?)に酔いながら、仲見世界隈を散策後、船でやや風が冷たい隅田川を遊覧。

夕方、国会議事堂を近くに眺めながらバスでホテルへ。

2. 11月26日(火)

ホテルから一路埼玉へ。武運の守護神誉れ高く、武家の尊崇が厚かった、元官幣大社の氷川神社を参拝。昼食後、バスで「活動交流部会」が行われる「彩の国さいたま芸術劇場」へ。

活動交流部会は、

(ア) 第1部会、活動発表で、高齢者の健康づくり・介護予防活動の推進

(イ) 第2部会、活動発表で、高齢者の支え合い活動の推進

(ウ) 第3部会、舞台発表で、演じる活動の3部会に別れ、第1・第2部会では3クラブ、第3部会では6クラブによる活動

及び舞台発表が、それぞれ行われた。

3. 11月27日(水)

大会は、JR大宮駅の至近「大宮ソニックシティ大ホール」で開催。「オーブニング」・「講演」・「アトラクション」・「活動ビデオ紹介」、そして「式典」の順で行われ、最後に、「宣言の朗読」をもって閉会。18時05分 佐賀空港着。

4. 感想

内容について

a 一日目の「活動交流部会」については、私が参加した第2部会では3クラブによる「高齢者の支え合い・助け合い活動の推進」の活動発表が行われた。発表された3クラブの支え合い活動は、とても具体的であり、かなり進んでいるように感じられた。

2・3の質問や一部、確認希望の声も上がっていたが、十分な議論が無いまま時間が無いからと、そこそこで打ち切られた。

ただ、総じて3クラブに共通して感じ

たことは、老人クラブと行政や民生委員、そして、既に老人福祉向上の為、様々な活動を実施している諸団体との緊密な協力関係の構築が、かなりスムーズに、且つシツカリと、出来ているように思われた。

我が老人クラブも、このような緊密な協力関係を模索し、先ずは構築することが、地域づくりの具体的な活動を展開する上で、欠くことの出来ないプロセスではないか・と、改めて痛感した。

助言者としての厚労省老健局振興課予算係長のコメントには、特段の新鮮味は感じられなかった。

b 二日目の「式典」に絡んだ一連の行事については、正に、定型的な流れであった。このような定型的な行事を、全国的に、会員数が伸び悩み、財政状態が窮屈になっている状況の中で、多くの「人」・「物」・「金」を投じて、毎年行う必要があるだろうか? 何か、他の良い方法はないだろうか? と、ほんのチョッピリ考えさせられたのは、私だけであろうか:

令和2年度 収支予算書 (正味財産増減ベースを簡略)

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位：円)

科 目	予 算 額
I 正味財産増減の部	
1 経常増減の部	
(1) 経常収益	
基本財産、特定資産運用益	1,000
分担金	7,020,000
事業収益	2,490,000
受取補助金等	8,831,000
受取寄付金	3,000
雑収益	66,000
経常収益計	18,411,000
(2) 経常費用	
実施事業（事業費）	19,483,000
健康保持増進事業	1,672,000
高齢者相互支援推進啓発事業	8,888,000
リーダ養成事業	5,408,000
育成指導普及事業	2,198,000
九州ブロック事業	1,317,000

科 目	予 算 額
法人会計（管理費）	
法人運営等	2,458,000
経常費用計	21,941,000
当期経常増減額	△ 3,530,000
2 経常外増減の部	
(1) 経常外収益	0
(2) 経常外費用	0
当期経常外増減額	0
他会計振替額（他会計繰入、他会計繰出）	0
当期一般正味財産増減額	△ 3,530,000
一般正味財産期首残高	19,871,000
一般正味財産期末残高	16,341,000
II 指定正味財産増減の部	
受取負担金（九州ブロック積立金）	202,000
当期指定正味財産増減額	202,000
指定正味財産期首残高	440,000
指定正味財産期末残高	642,000
III 正味財産期末残高	16,983,000

宣 言

わが国の高齢化は、今後ゆるやかな増加に転ずる一方、若い世代の人口は急速に減少することが予測され、社会の発展や活力の維持が懸念されています。

このようななかで、私たちが健康寿命の延伸に向けて意欲を高めることは、医療・介護サービスや費用負担の軽減のみならず、地域共生社会の実現や社会の活力維持にも大きく貢献するものと思われまます。

私たちは世界に冠たる長寿国に暮らす幸せに感謝し、さらなる健康長寿をめざして、健康づくりや介護予防活動の推進・充実に努めてまいります。全国第5位の人口を有し、大都市として発展を続けるここ「彩の国さいたま」に集う老人クラブ代表は、「高齢者の元気が社会を変える」との自覚をもって、メインテーマである「のぼそう！健康寿命、担おう！地域づくりを」に向け、次の事項の実践を誓い、ここに宣言します。

一、高齢者の社会参加を呼びかけ仲間づくりの輪を広げます

一、介護予防・フレイル（虚弱）対策で元氣高齢者をめざします

一、友愛活動を基盤に新地域支援事業と連携した支援活動に努めます

一、高齢者の尊厳が守られる諸制度・地域共生社会の実現をめざします

令和元年十一月二十七日

第四十八回 全国老人クラブ大会

友愛活動県内交流集会

令和二年1月17日（金）、友愛活動を実践されている会員50名が集い「友愛活動県内交流集会」が佐賀県在宅生活サポートセンター研修室において開催されました。

まず、各市町から活動内容や検討事項を発表していただきましたので、いくつかご報告をさせていただきます。

- ・93歳の高齢者宅に安否確認に行っているが、市内に息子、娘がいるにもかかわらず、いろいろと相談を受けている。対応の難しさはあるが、民生委員と協議しながら対応をしている。民生委員との連携が必要。
- ・薬を代理で薬局に取りに行っている。～身分証明書の提示が必要。
- ・安否確認に自宅に出向いていたが、家族から拒否される事例があったため、家にはいかず道端で声掛けの実施をしている。
- ・一人暮らしの方の連絡先（町内に緊急連絡先になってもらう方がいない。）協議にて、民生委員との協議をし、緊急連絡先を決定することが必要である。

全体協議では、民生委員との協議をしたうえで対応することが多くあり、民生委員との関わりが必要であることは共有できた。

友愛活動の実施、家庭訪問、相談を受ける場合は必ず複数で対応することが重要である旨共有する。

二時間と短い時間の中での協議でありましたが、友愛活動を実践している方々の研修の場になったと思われまます。今日の研修を今後の友愛活動の参考にしていただければ幸いです。

県老連ホームページ開設のお知らせ

開設日 令和2年2月4日

アドレス <https://www.sagakenrouren.jp>

県老連の情報、県内の魅力ある老人クラブの活動などをホームページ内で情報発信していきます。会員の皆様ご利用ください。

佐賀県老連事務局

QRコード



高齢者の健康づくり・生活支援セミナー

全老連主催「高齢者の健康づくり・生活支援セミナー」講習会が、令和元年12月12日～13日の間、東京都新霞ヶ関ビル灘尾ホールで開催されました。

佐賀県からは佐賀市西与賀老人クラブの女性部長高津万亀代さんと千綿順子さんに参加していただきました。

お二人の研修会参加報告をご紹介します。

西与賀老人クラブ女性部長 高津万亀代

全国より180名が参加し、東京の灘尾ホールで講習会があり、先ず会場に入ると渋沢栄一氏の銅像が目にとまりました。ご存知のように新たな紙幣候補であり、明治時代に沢山の会社を設立したことで知られています。氏と老人会との関わりは現在の東京都健康長寿医療センター創立者であることが開会挨拶で触られました。講習会では高齢者社会において「栄養・運動・社会参加」の三つの柱が必要であり健康課題では弱体化を防ぐには「フレイル予防」と言う言葉があり、歯と口腔の管理ケア・筋力体操・地域交流で社会参加活動・掛かりつけ医師を持つなど予防に繋がることを勉強しまし

た。今回受講し老人クラブ活動の一環として、今後は皆様と一緒に活動が必要であることを強く感じ、老人会の活動だけでなくサロン活動とも連携し健康活動・介護予防に繋がることが必要であることも感じました。セミナーに参加させて頂き大変参考になりました。有り難うございました。

西与賀老人クラブ 千綿 順子

元気アップ教室やカフェ等立ち上げた関係で女性部長より参加の打診、老人会長の承諾を得、諸先輩方がいらっしゃる中チャンスだと思い、東京での講習会に参加させて頂きました。

高齢化率が増え、認知高齢者・要介護者が増加、平均寿命も延び健康寿命との差を小さくするには、仲間・健康づくり、生活支援の推進、正しい知識の習得で体操・サロン・健康診断・情報交換等を行う事。2日間に亘り専門の先生方の講座で、フレイル（虚弱）予防と地域の支え合いは、栄養・運動・社会参加が大事で、きちんと食事を摂り運動をし、筋力がつけば外出もでき、人とおしゃべりをし、地域との交流も生まれ、笑顔もできると言う事でした。

今回の研修を受け、西与賀校区老人会が毎年地域の行事に踊りを披露している事は大切であると思い、まず、自分の健康を保ち、多くの方との交流を深め、各団体と協力しての活動をする。これを少しでも地域の中で生かせたらと思いました。

研修に参加させて頂きありがとうございました。

養成講座開催

高齢者訪問支援活動推進員養成講座は、県老連と佐賀県在宅生活サポートセンターとの共催で毎年開催しています。

令和元年度は五回の講座を実施し、247名の会員（ボランティアヘルパー）が講座に参加していただきました。

令和元年度の講座の内容は次のとおりでした。

1. 開会
2. 在宅生活サポートセンター紹介
(センター施設、展示室、バリアフリー住宅の見学、介護技術等)
(昼食、休憩)
3. 友愛活動に役立つ講座「薬の上手な使い方」
講師～株式会社ミズ 益田 みさ子氏
4. 友愛活動に関する講座「笑顔で広がる仲間の輪」
講師～生涯学習インストラクター 西田 富子氏
5. 閉会

午前はバリアフリー住宅の見学、介護技術の実践等を体験していただき、午後の「薬の上手な使い方」の講座では、参加者の皆様から自分の今の状況を伝えられ、助言をいただかれていました。「お薬手帳」は必需品ですが、一冊のみ使用することを忘れずに、間違っても二冊使用することがないように注意をお願いします。通院時には必ず「お薬手帳」を持参し、薬局では薬剤師に提出し、助言を仰ぐようにしましょう。

また「笑顔で広がる仲間の輪」の講座では、参加者のみなさんが終始笑顔で参加していただきました。笑うことの大切さ、笑顔で接することの大切さを忘れずに、友愛活動に活かしていただければと思います。



第16回 佐賀県老人クラブグラウンド・ゴルフ大会

令和元年10月29日火曜日、第16回佐賀県老人クラブ、グラウンド・ゴルフ大会が佐賀市民運動広場において開催されました。

木下治紀佐賀県老連会長の挨拶、江北町老連、田中 源一選手の力強い選手宣誓で始まり、331人の選手の皆様が、秋晴れの下、楽しく、元気に最後まで大会を盛り上げていただきました。

各パートの10位までの表彰者は下記のとおりです。おめでとうございます。

各パートの上位10名には賞状と賞品が贈られ、盛会のうちに閉会となりました。

令和2年度は10月27日（火）、同場所で大会を実施いたします。選手の皆様、係りの皆様、来年も大会が盛り上がるように、ご協力をお願いします。



各パートごとの優勝者及び10位までの成績

黄パート

優勝	今里 一郎
準優勝	松雪 虎喜
3位	山下 明
4位	堀内 忠利
5位	中尾 嘉彦
6位	持永 祥二
7位	原 利之
8位	江口 光蔵
9位	土井 英雄
10位	中島 利充

緑パート

優勝	旭 満信
準優勝	青木 淳
3位	森武 正善
4位	石井 喬
5位	牧野内登規子
6位	東内 修巳
7位	野中 勇
8位	原口 国昭
9位	辻 京子
10位	野中 利喜

赤パート

優勝	樋口政次郎
準優勝	本村 長幸
3位	野中浩三朗
4位	船山トミ子
5位	原 靖弘
6位	田口 信吉
7位	田代 利範
8位	赤司 信幸
9位	芝原 俊昭
10位	力安 雅英

9月20日は全国一斉『社会奉仕の日』

社会奉仕の日を中心に県内の各クラブにおいても、地域の美化活動に取り組み890クラブ・22,871名が地域への奉仕活動に参加されました。皆様お疲れさまでした。



伊万里市老人クラブ

令和元年度の奉仕活動に伊万里市老連からは26クラブ1532名の参加がありました。単位クラブ毎に公共施設や防火水槽、駅構内、ホーム、道路や神社、仏閣、遺跡等の地区の様々な場所で、奉仕活動が行われました。

日頃、見過ごされがちな雑草の除草や樹木の剪定、枯れ木の焼却を実施。また、道路の路面や側溝のゴミ、空き缶拾い、清掃をしました。

福田区老人クラブでは、バス停横の花壇の清掃を実施しました。草に覆われていた花壇がすっきりとなりました。



基山町老人クラブ連合会

今年は町老連全体の合同作業として、秋光川の川岸に約1300メートルにわたり設置されている花壇の中の除草と差の周囲の清掃を行いました。

全区間を四ブロックに分け、一斉に作業を行いました。今年も長雨により雑草が伸び、草取り作業に時間がかかりました。

暑さの中、全員が協力しあい見事に花壇がよみがえりました。

また、単位クラブ毎に20日を中心にそれぞれの地域のお宮や公園等の草取り・清掃活動を実施しました。



上峰町



芦刈町

参加クラブ数及び人員

市町老連名	クラブ数	人員	市町老連名	クラブ数	人員	市町老連名	クラブ数	人員
佐賀市	274	7,031	小城市	19	327	玄海町	14	380
唐津市	76	1,575	嬉野市	51	1,161	有田町	40	944
鳥栖市	36	721	神埼市	68	1,500	大町町	22	760
多久市	8	201	吉野ヶ里町	22	402	江北町	30	957
伊万里市	26	1,532	基山町	4	45	白石町	42	1,350
武雄市	69	1,721	上峰町	15	295	太良町	—	—
鹿島市	26	620	みやき町	48	1,349	合計	890	22,871

佐賀市老人クラブ

会長 木下 治紀



佐賀市老人クラブ連合会は平成18年4月に旧佐賀郡の一部と、旧神埼郡の一部が佐賀市

老連と合併。その後、平成20年4月に旧佐賀郡と合併により現在に至っています。

佐賀市老連の令和元年度のクラブ数・会員数は286クラブで11,373人。65歳以上の佐賀市の人口では17.66%となっています。校区老連として本来は29の校区がありますが、現在は26校区（日新・開成・大詫間校区が休止状態）となっています。

合併当時は会費の問題で旧佐賀市と旧郡部の統一が出来ず、当分の間、合併前の会費を継続することで調整を行っていました。中々一本化が困難な状況（旧佐賀市はクラブ単位の会費、一方旧郡部は個人1人当たりの会費）となっていました。何となくでも一本化する必要があることで、そこで、平成23年度より折衷案として当時の会費収入額を350万円として校区割40%（48、

000円）・クラブ割30%（3,400円）、会費割30%（60円）を導入したが、それでも旧佐賀市と旧郡部の負担割合の差が生じていたものであった。しかし、会費の問題は解消すべきとのことで全体調整を行い、やっと合併13年目で調整が就き、平成30年度より会費を1人当たりで運用することになりました。また、佐賀市老連の会費の考え方として会費としては1人当たりとはなりますが、会費として必要額（令和元年度は300万円）を定め当該年度の会費は300万円を会員数で割る方式を取っていることで、会員数の減少での会費の減少を防止しています。

佐賀市老人クラブ連合会では南北に細長く、北は富士町・三瀬村と福岡市や糸島市に隣接し、南は諸富町・川副町・東与賀町・久保田町と有明海や福岡県大川市に隣接しており、広範な範囲で形成されており、各種の事業を計画するに当たって相当の問題がありました。例えば、農繁期の時期が約3か月間に亘っています。また、海苔の時期が秋から冬のスポーツ開催の時期と重なり都合が就きにくいとの問題もありました。が、何やかやと調整しながらも各種の事業が順調に実施出来ています。

各種の事業として、まずは、スポーツ関係ですが、校区老連の代表として、女性GG大会、ゲートボール大会、世代間GG大会、交通安全教育GG大会、ペタンク大会を開催しています。また、佐賀市の委託事業として高齢者スポーツ大会を各校区毎に実施して頂き、未加入高齢者も参加して貰い、全体で約6千人もの参加となっています。例年10月には佐賀市文化会館大ホールにおいて老人クラブ大会を開催し、各校区老連より一生懸命に練習された見事な出し物がされています。早い校区では半年前から練習に練習を重ね、それは見事なものがあります。練習を一緒に行うことで絆が深まり仲間意識が強くなり老人クラブの活動にも活性化となっています。

新規に単位クラブの会長となった方を対象にして研修会を開催しており全体の約1/3の会長が交代されています。また、5月には友愛活動ヘルパーへの研修会を実施。2月頃には老人クラブの交通指導員を対象として交通安全研修会を実施しています。例年1月には単位クラブへの補助金の清算について校区老連の会計担当者を集めての説明会を開催。

毎月の定例会議として22日を基本として

理事会を開催し各種の情報を伝達していき
す。

平成26年度から5か年の会員増強運動を
取り組みましたが全体的な会員増強には繋
がってはいませんが、一部の単位クラブで
は会員の増加があっています。引き続き、
新規会員の勧誘を続けていく必要があります。

令和元年7月に佐賀市の担当課と佐賀市
老連正副会長、各部の部長、総務部理事
との意見交流会を実施した中で、市老連
からの要望として単位クラブへの補助金
として、佐賀市は会員が30人未満（23、
280円）30人以上（46、560円）となっ
ているので、会員が30人でも100人でも補助
金が46、560円では問題ではないかと
申し入れを行った結果、令和2年度より区
分を①30人未満（23、280円）、②30
人以上60人未満（46、560円）、③60
人以上90人未満（69、840円）、④90
人以上（93、1200円）に改正すること
になった。

また、平成28年9月と平成30年9月には
佐賀市自治会協議会に老人クラブへの理解
と未設置地域の老人クラブの設立について
の要請を行っています。このことで、理解

のある自治会長の所では自治会長自ら老人
クラブに加入頂いて未加入高齢者も老人ク
ラブに入会頂いております。

老人クラブの楽
しいところをもつ
と積極的に理解を
頂き、『健康』・『友
愛』・『奉仕』の老
人クラブの三大運
動の取り組みを積
極的に展開してい
きたいものであり
ます。



佐賀市兵庫校区

子ども会・地域団体・老人クラ
ブ長生会交流
「春の花植栽」「さつま芋掘り」

兵庫校区老連会長 川副 幹郎



兵庫第五老人クラブ
は、毎年、子ども会と
交流し「花壇の花植栽」
を行っています。今年
も12月16日、来春への

夢と希望を込めて春花の植栽を行いまし
た。子供会は16人と保護者、地域参加者、
会員を含めて総勢42名で、子どもは思い思
いのカラーのチューリップを、保護者・会
員、一般支援者はパンジー、なでしこ、金
盞花、ノースポール等の春花390株を約40㎡
の三面の花壇に植栽。来春へと希望を託し
て夢を繋いだ。花植栽の花壇は公民館通路
の脇、地域の住民の目の届く処にあり、日
頃の活動を地域の人に認識され、会員も花
の咲き具合、花壇の状態に気配りをして除
草など積極的にを行い、地域の人から喜ばれ
ていることを生き甲斐としている。植栽準
備に当って、用地は会員所有の畑を快諾借
用、耕運機等動力作業は地域農業団体の助
力によって、植栽管理は子ども会と老人ク
ラブで行っています。

「花を見て怒る人はいない」と言われ、
高齢者にとっては心のよりどころとなっ
ている人も多いでしょう。

秋から冬にかけての郷愁の味覚

「さつま芋掘り」芋の種類は紅はるか
です。子供会と老人クラブや地域各種団体交
流の「芋掘り」を今秋行いました。収穫量
は200キロ位で参加者は持ち帰ることが出来
ることで皆真剣に芋掘りをしていました。

鳥栖市老人クラブ

復興に向け支え合う 南阿蘇老連と交流

多くの被害が記憶に新しい熊本地震の被災地で復興に向け一丸となり活動されている『南阿蘇老人クラブ連合会』との交流研修会を令和元年10月8日(火)開きました。

この南阿蘇老連さんは、平成30年度第47回全国老人クラブ大会に於いて60歳以上の住民の老人クラブ加入率が60%を超える事や、福祉運動会、高齢者学級といった活動が評価され優良市区町村老連表彰を受けられた老連です。

今回は、鳥栖・鳥栖北・旭各地区から単位クラブ会長・女性部長・事務局長20名の参加でした。

前日の7日に熊本を目指し鳥栖を出発、途中「立花ワイン工場」で研修し、山鹿一本松公園で1.5トンの羽根が風速2〜3mで回り出す「石のかがぐるま」を見学し熊本入りしました。



翌日、緊張した面持ちで南阿蘇へ出発です。1時間後7名の役員さんのお迎えを受け交流研修会場に到着しました。

両会長の挨拶に始まり、老連活動紹介、意見交換会と続きます。

その中で、鳥老連としても取り上げなくてはならないと感じた活動の紹介がありました。

まず、60%の加入率に驚きましたが、行政および区長と連携し60歳に達すると加入を託しているとのことでした。健康づくりに関しては、約800名の会員さんが参加されている、幼稚園と連携した福祉運動会を開催されているとの事。

友愛活動の一環としてひとり暮らしの会員を近所数名で見守り、何かあれば社協と連携し事に当たっているとの説明がありました。

また、緊急連絡先等は冷蔵庫の中に各家庭とも置いてあるとの事、驚きました。全体的に、行政と社協との連携が素晴らしいと感じた研修でした。



神崎市老連脊振支部

市老人クラブが高取山公園清掃

神崎市老人クラブ脊振支部のメンバー約50人が10月29日、同市脊振町の高取山公園で奉仕作業をした。

メンバーは園内を清掃し、伸び過ぎた樹木の枝葉を整えた。

地元の公園にたくさんの方が来てもらえるように、きれいにしようと年1回、実施している。

鎌や剪定ばさみを手には、木々が生い茂る中に分け入って、かずらなどの雑草木を刈った。駐車場周辺と遊具や小川が集まる辺りを中心に作業した。

老人クラブの廣瀧恒明支部長は「過疎化が進む脊振町ではあるが、遊具など整っている公園をきれいに保って人が集まり、地域の活性化の一つになれば」と話した。



令和元年11月2日
佐賀新聞に掲載される。

多久市西多久老人クラブ

親子ふれあい活動 しめ縄づくりの出前講座

やがて師走となる昨年の年末に多久市東原庵舎西溪校（義務教育校）では、育友会が主催して8年生（中学2年生）「親子ふれあい活動」のテーマでしめ縄づくりが計画され、西多久老人クラブ及び多久老人クラブに指導の要請がありました。

最近では、老人クラブのメンバーでもしめ縄づくりの体験がない人が多い傾向にあります。早速、しめ縄の有識者と作成体験者を募り令和元年11月30日に同校に向いて作成の出前講座を行いました。

生徒さんたちは、しめ縄の知識については、全体学習で勉強していて、稲わらは、育友会の皆さんが準備され、しめ縄用に藁を加工する道具として昔懐かしい足踏み脱穀機や木槌を生徒たちは珍しそうに体験していました。

我々老人クラブのメンバーは、最初に学校の玄関用の大きいしめ縄を作成した後、生徒の皆さんの自宅の玄関等に飾るしめ縄作りの作成の指導を行いました。

作品を自宅に持ち帰り玄関などに飾る目的があつて真剣に取り組んでくれました。学校の自転車置き場の軒桁に藁束をつるし一つの藁束を三つに分けて三人がそれぞれ両手で握り右方向にねじりながら左へ回して編み上げていきます。

生徒25名全員分の作成作業の指導に取り組み完成時には生徒の皆さんも育友会の皆さんも安堵されていました。

きつと良い正月が生徒の皆さんの家庭に訪れたことと思っています。



3つの会員増強運動


1. 「勧誘から始めよう！」－会員一人ひとりが勧誘の担い手です－
2. 「クラブでPRしよう！」－知られていますか、あなたのクラブ－
3. 「クラブをつくろう！」－すべての地域にクラブの設置を－

令和元年度、佐賀新聞に掲載された老人クラブ活動紹介

掲載日 令和元年1月9日(木)

あなたの町の元気応援! 特色ある活動をしている県内の老人クラブを全4回にわたって紹介します。 **第1回 佐賀市老人クラブ連合会 小杭地区老人クラブ**

佐賀市 小杭(おくい)地区老人クラブ



■公民館には28水雷の写真が貼られている

佐賀市老人クラブ連合会事務局 TEL0952-32-2561

高齢者の命は高齢者で守ろう

近年多発する自然災害。諸富町小杭地区ではたびたび農地や道路が冠水し、小杭地区老人クラブの小柳春良会長は、「若い人が仕事に出るまでの時間帯に、自宅にいる高齢者の命を守ることが課題と強調します。このため、同会では、自分たちの命は自分たちで守ろう」と高齢者による高齢者のための「避難マニュアル」づくりを始めました。

地区を考えること、つながり深く

現在の会員は、65歳~107歳の7人。幅広い年齢層の会員がいるため、知識と経験が豊富です。会員の中には冠水水位4mを超えた1953(昭和28)年の西日本大水害で被災した会員もいるため、その経験に基づき「避難マニュアル」を作成することができず、災害時の行動手順や避難所でのルールを策定し、自力避難困難者、独居世帯、施設入居者などの名簿を作成するほか、対象者の自宅を色分けして地図に示し、避難支援に役立つよう工夫しています。

さらに、定例会には災害発生時の避難受け付けを想定した訓練を行い、地区行事では炊き出しを行っており、避難時に3日間の食糧支援がなくても自立できるように備えています。

「情報を共有して地区を考えることでつながりも深くなります」と小柳会長。地域住民が協力して行う「自主防災組織」と連携しながら、高齢者の共助の精神を強めています。

楽しかバイ老人クラブ


高齢者による高齢者のための避難マニュアルづくり

~あなたの町の老人クラブと一緒に活動しませんか~

掲載日 令和元年1月12日(日)

あなたの町の元気応援! 特色ある活動をしている県内の老人クラブを全4回にわたって紹介します。 **第2回 鳥栖市布津原老人クラブ**

鳥栖市布津原(ふつはら)老人クラブ



■活動の様子

鳥栖市老人クラブ連合会事務局 TEL0942-84-3396

5年前に立ち上げた「伝承部」

1978(昭和53)年に発足した鳥栖市布津原老人クラブ(会員数41人)は、「スノーボール部」「趣味・教養部」「伝承部」と3つの専門部があり、クラブ活動や花づくりなど多彩なクラブ活動を行っています。

中でも、町内にはものづくりを得意とする高齢者が多く、5年前に立ち上げた伝承部「年輪工房」は、地域イベントへの参加を通じて、地域の子もたたく、あつくり、昔遊びの楽しみ方を伝えています。

年輪工房の部員は現在10人、鳥栖北小 学校PTAとの共催事業も

原町ちまつま会などに参加して、昔から伝わる遊び「竹とんぼ」「風(か)こ」などの作り方を指導したり、参加したり。竹とんぼが飛んだ時の嬉しそうな笑顔を見ると、自分も元気にになります。

経験や特技が役に立ち、一歩両得です。部員たちも楽しそうです。また、町の文化祭では部員の木工作品も出品します。

伝承活動を始めてから地域の子たちもたくさん顔見知りになり、ほかの老クラブや学校PTA、町とのつながりが強くなりました。今後は「伝承活動」を続けていくことで、地域との絆を深め、地域に貢献していきたいと意気込んでいます。

楽しかバイ老人クラブ


経験と得意なものづくりを生かして地域貢献

~あなたの町の老人クラブと一緒に活動しませんか~

掲載日 令和元年1月20日(月)

あなたの町の元気応援! 特色ある活動をしている県内の老人クラブを全4回にわたって紹介します。 **第3回 唐津市老人クラブ連合会浜玉支部 春秋会 玉島校区**

唐津市老人クラブ連合会 浜玉支部 春秋会 玉島校区



■活動の様子

唐津市老人クラブ連合会事務局 TEL0955-70-2340

安全と成長願う「見守り隊」

「ただいま」と声をひもとく下げる唐津市立玉島小の児童を、「おかえり」と笑顔で迎える唐津市老人クラブ連合会浜玉支部春秋会玉島校区(会員数64人)の見守り隊、小学校で小学生を通る玉島イースの交差点を毎日見守り、送迎されています。

「見守り活動をいよいよ始めたのか記録はないが、数年間、毎日、下校時の見守りを続けている」と高瀬新栄会長。

児童の安全を見守っています。

学校・家庭・地域との絆を深める

学校の連携は密で、毎月行事の有無や各学年で異なる下校時刻を、おたが表が小学校在学児童集めます。

学校が家庭・地域が強い絆、結ばれた玉島校区では顔見知りの児童も多く、おたが表した表情の変化に気づくことができます。

入学当初、学校になじめないか、不安になっていた児童が、「見守り活動が児童の心の支えになった」と気づき、うれしかったと会員たちは微笑みます。

そんな見守り活動に対し、小学校の児童は、毎年学年末に「ありがとう集会」を開き、感謝状や感謝の手紙を送ります。

「天候が厳しいときありますが、見守り活動は楽しいです。私たちの生活のリズムにもなっています」と高瀬会長。

これからも下校時の見守りを通して、学校・家庭・地域との絆を深めていきます。

楽しかバイ老人クラブ


見守り活動が児童の心の支えに

~あなたの町の老人クラブと一緒に活動しませんか~

掲載日 令和元年1月25日(土)

あなたの町の元気応援! 特色ある活動をしている県内の老人クラブを全4回にわたって紹介します。 **第4回 佐賀市 諸富町老人クラブ連合会**

佐賀市 諸富町老人クラブ連合会



■「田植えりれ」の様子

佐賀市老人クラブ連合会事務局 TEL0952-32-2561

施設入居者も一緒に楽しむ大運動会

現在50代が30代未満の155名を擁する1994(平成6)年から毎年秋にもクラブの運動会を佐賀市立諸富町文化体育館(ハートビル)で開催しています。今年も大規模です。

「昨年度は、もう多くの方を流石の施設入居の方を大運動会に招きました。当日は競技する人に限らず、約100人の来賓という笑顔を体感しています。」

高齢者運動会ならではの工夫

大運動会は、勝ち負けではなく楽しむことと、少し楽しむことを目的としています。アジリティも、参加することに意義がある。例は、棒釣りの釣竿は、あらかじめ決めた長さで、最後はゴールして1位になること。

また、田植えりれでは、長菜(葉)を使うことで、収穫体験も行うことができます。

「運動会を通じて、健康維持と愛の精神、地域の絆を深めています。」

楽しかバイ老人クラブ

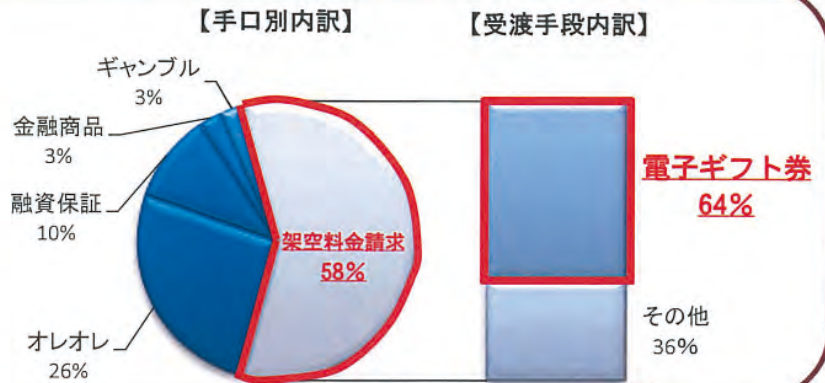
健康やかに!! 秋の諸富町老人クラブ大運動会

~あなたの町の老人クラブと一緒に活動しませんか~

県老連HPの活動事例にて、記事をご覧いただけます

佐賀県内における昨年1年間の二セ電話詐欺 【被害件数:38件 被害額約9,967万円】

「架空料金請求詐欺」が、被害全体の約6割を占めており、中でも電子ギフト券を購入させ、番号を教えさせる手口が多くなっています。



電子ギフト券を悪用する詐欺ってどんな手口なの？



犯人はこんな手口で近づいてきます...

- ① 「サイトの利用料金が未納のため訴訟手続に移行する。」等という内容のハガキやメールが届く。
- ② ハガキやメールに書いてある電話番号に連絡をする。
- ③ 「利用料金を支払うために、すぐにコンビニで電子ギフト券を買って番号を教えて。」等と言われる。
- ④ 焦ってコンビニで20万円や30万円といった高額な電子ギフト券を買って番号を教えてしまう。

★ 身に覚えのない請求には応じないでください。

その電話信じるの
チョコっと待つて!

★ 「電子ギフト券の番号を教える」は、全て詐欺です!



ごろうくんの防犯川柳

佐賀県では被害防止のため、コンビニで電子ギフト券を買った方には、こちらの封筒に入れてお渡しする取組を行っています。

その支払い チョコっと待つて ひと呼吸

老人クラブ会員向けに 傷害保険・賠償責任保険で安心補償

2019年10月改定

傷害保険 (掛金・補償内容)

自分がケガをした時の保険です。病気および他人に与えたケガは対象外です。

① **対象**: 老人クラブ会員に限ります。1人1口加入で年齢制限はありません。
加入手続きは所属の老人クラブの保険担当者が取りまとめる団体保険です。

② 保険加入月 および保険期間	保険加入月(年2回のみ)	保険期間	申込及び掛金払込期間
	2019年10月加入の場合	2019年10月1日午後4時から1年間	2019年7月1日～9月15日まで
	2020年4月加入の場合	2020年4月1日午後4時から1年間	2020年1月1日～3月15日まで

③ **掛金払込の条件**: 申込みの人数に関わらず1回の払込につき掛金総額3,000円以上(追加の場合も同様)
※払込手数料は申込者負担

④ **補償範囲・掛金タイプ**: 「24時間型:4タイプ」・「活動型:2タイプ」の6タイプから1人1つ選択してください。
複数口加入はできません。

⑤ **掛金・補償内容** 【補償額】上段: 活動中のケガの補償額
下段: (活動中以外)のケガの補償額

タイプ	24時間型				活動型		
	クラブ活動中(往復途上(注1)を含む)・クラブ活動中以外を問わず日常生活全般(24時間)のケガを補償します。						
補償内容	年間掛金	12,000円	8,000円	5,000円	3,500円	1,000円	500円
死亡保険金		344万円 (174万円)	217万円 (132万円)	210万円 (125万円)	137万円 (92万円)	85万円 (-)	45万円 (-)
後遺障害保険金(注2)		170万円 (-)	85万円 (-)	85万円 (-)	45万円 (-)	85万円 (-)	45万円 (-)
入院保険金日額(注3) 1事故につき30日限度		6,400円 (2,400円)	3,450円 (1,450円)	3,250円 (1,250円)	1,950円 (950円)	2,000円 (-)	1,000円 (-)
通院保険金日額 1事故につき30日限度		4,100円 (1,500円)	2,250円 (950円)	2,100円 (800円)	1,250円 (600円)	1,300円 (-)	650円 (-)
個人賠償責任補償 (自転車事故も含む)		1億円	1億円	【クラブ活動中とは】			
地震・噴火・津波 危険補償(※1)		○	○	①「所属する単位クラブが予め計画・実施する活動」および②「市区町村(地区・校区)から全国までの各連合会が主催する活動イベント」ならびに③「老人クラブ関係者として他団体の活動」への参加・往復途上を含みます。			
熱中症 危険補償(※2)		○	○	事故証明者: 単位クラブ関係者、参加した主催者連関係者			

〈ご注意〉「24時間型」については、職種別A(無職・事務職(ケガリスクの低い職業)等)の場合の保険金額となります。
職種別B(ケガリスクの高い職業)については、下記をご参照ください。
(「活動型」に職種別はありませぬ。)

●職種別Bに該当する主な職種

- ・「自動車運転者」、「建設作業」、「農林業作業」、「漁業作業」、「採鉱・採石作業」、「木・竹・草・つる製品製造作業」(以上6職種)
- ・上記に該当する方は、保険金額が変更になります。
- ・詳しくは取扱代理店もしくは引受保険会社にお問い合わせください。

(注1) 往復途上とは、自宅(マンション、アパートなどの集合住宅は専用部、戸建ては敷地を含む)を出てから、クラブ活動場所までの通常経路を指します。

(注2) 後遺障害保険金は、クラブ活動中のケガに起因する場合のみが対象となります。後遺障害の程度に応じて、クラブ活動中の後遺障害保険金の4%～100%が支払われます。

(注3) 手術保険金として、入院中は入院保険金日額の10倍、外来(入院中以外)は5倍がお支払対象となります。

賠償責任保険 (掛金・補償内容)

他人の物を壊したり、ケガをさせた時の保険。自分のケガは対象になりません。

- ① **対象**: 老人クラブ(全員加入が条件となります) ② **保険期間**: 毎年10月から1年間
③ **掛金**: 1人年額100円(最低引受保険料3,000円) ④ **補償**: 支払限度額1億円

公益財団法人全国老人クラブ連合会 保険係

〒100-8822 東京都千代田区豊が関3丁目6-14 ミクスビル1階102号

(受付時間 9:30から17:00まで(土、日、祝祭日、年末年始休))

加入申込書等、資料請求先

専用FAX 03-3597-8767

お問い合わせ先

03-3597-8770

ホームページ <http://www.senior-ltd.com/> (老人クラブ傷害保険) (保険料) メールアドレス hoken@senior-ltd.com

(取扱代理店) 有限会社 シニアサービス社 TEL.03-3597-8768

(引受幹事保険会社) 東京海上日動火災保険株式会社(担当課) 医療・福祉法人部 法人第二課 TEL.03-3515-4144

※この広告は、以下の商品についてご紹介したものです。
「老人クラブ傷害保険」

■活動型: 老人クラブ団体傷害保険特約付帯傷害保険

■24時間型: 総合生活保険(傷害補償)

「老人クラブ活動専用賠償責任保険(施設賠償責任保険・生産物賠償責任保険)」

ご加入にあたっては、必ず「パンフレット」「概要」「重要事項説明書」をよくお読みください。詳細は、ご契約者である団体の代表者にお渡ししてあります保険約款によりますが、ご不明な点がある場合には、代理店までお問い合わせください。

19-T00792 2019年5月作成

令和2年度 佐賀県老人クラブ指定旅館契約一覧

佐賀県	旅館 初音 荘 (嬉野市)	ひぜん 祐徳 温泉 (鹿島市)	伊万里 温泉 (伊万里市)
	吉野ヶ里 温泉 (上峰町)	大町 温泉 (大町町)	お魚処玄海(玄海活魚株) (呼子町)
福岡県	桑之屋 (うきは市)	つるき 荘 (うきは市)	甘木 館 (朝倉市)
	原鶴グランドスカイホテル (朝倉市)	かんぼの宿 柳川 (柳川市)	虹の宿ホテル花景色 (うきは市)
	ふくせんか (うきは市)		
長崎県	雲仙いわき旅館 (雲仙市)	長崎ブルースカイホテル (長崎市)	サムソンホテル (平戸市)
	雲仙みかどホテル (島原市)	ホテル南風楼 (島原市)	東洋九十九ベイホテル (島原市)
熊本県	旅館 金時 (阿蘇市)	つかさの湯 (玉名市)	玉名ファミリー温泉 (玉名市)
	ホテルセキア (南関町)		
大分県	天龍 荘 (日田市)		

会員章を胸に活動の輪を広げて

老人クラブ会員章は、会員一人ひとりの意欲とクラブの誇りを示すシンボル。

そして仲間、連携のしるしです。

あなたも会員章を胸に、地域の担い手としていきいきと輝きながら、クラブ活動を広げていきましょう。

会員章 1個 1,000円

県老連事務局で取り扱っています

この広報紙は、赤い羽根共同募金の配分金で発行しています。

